

市政のここが聴きたい！

一般質問

10議員が登壇

傍聴者延べ206名

一般質問とは、議員が市政全般にわたり市長をはじめ執行機関側に、事業の執行状況や将来の方針などを質問し、説明を求めるものです。

※一般質問の様子もホームページで録画配信中ですのでご覧ください。

問 高麗川駅西口のゾーン30の交通規制は。
答 区域を定め最高速度30kmの規制を実施し、道路標示の安全対策の組み合わせにより速度や抜け道としての通行行為を抑制し、住環境の向上を図るものである。昨年度、区域の一部を整備した。ゾーンの各入口に最高速度時速30kmの規制標識の設置や、ゾーン30の路面標示を実施したほか、飯能警察署の指導により、ポールを設置し、ゾーンの入口を狭くしている。また、歩行者の安全を確保するため、道路と歩道を区分する白線、一部にはグリーンベルトの路面標示を実施している。なお、今回の整備区域内は、優先道路が明確なため交差点には標示は必要ないとの審の判断である。

問 高麗川駅周辺の路上駐車対策については。
答 平成23年4月から駐車監視の重点地域に指定されていたが、違法駐車の数が増加したことにより平成27年3月に指定が解除されていた。しかし、平成30年1月から12月までの間に飯能警察署において当該区域における違法駐車件数を調査したところ、件数の増加が認められたことから、本年9月から再び駐車監視の重点地域に指定される予定となっている。なお、地域内すべてが駐車禁止となるのではなく、駅前などの駐車禁止指定場所のほか、道路の曲がり角から5m以内が取り締まりの対象となる。

問 新堀通線と県道飯能寄居線バイパスとの交差点に横断歩道が設置されていないがどうか。
答 当該交差点は、既存の信号機との間隔に関する距離設置基準を満たしていないため、新たな信号機が設置できなかった。そのため、現状ではバイパス周辺を歩かれる場合は既設の信号機や横断歩道のある場所を利用していただきたい。開通から半年が経過し、市へも実際に歩いたり、自動車も運転してみているため、意見を踏まえて、飯能警察署や飯能県土整備事務所などと安全対策について調整を進めていく。



横断歩道の無いバイパス交差点



ゾーン30の交通規制は

齋藤 忠芳